

事務事業名	とちぎ環境・みどり推進機構参画事業				担当	建設部 都市計画課 維持管理係	
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-83-8724	
施策名	4	自然環境の保全と保護			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	緑の募金による森林整備等の推進に関する法律					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和22 年度～）	
予算科目	1.一般会計	8.土木費	4都市計画費	4公園管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	緑化の推進、森林整備、環境保全等に関する事業を行い、緑豊かで良好な環境の県土づくりに寄与すること及び国際貢献を目的とするため、会員として参画する。構成員として、県内各市町や森林団体等である。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 25年度実績 ・緑の羽根募金や家庭用苗木の無料配布等により、市民の緑化意識高揚に努めるため、とちぎ環境・みどり推進機構の運営会費を支出（人口割、事業割） 26年度計画 25年度と同様		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(見込) ア 負担金の額 千円 35 43 43 43 43 イ ウ エ オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 公益社団法人 とちぎ環境・みどり推進機構		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(見込) ア とちぎ環境・みどり推進機構会員数 団体 307 305 101 101 101 イ ウ エ オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市民の緑化意識を高揚させる。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(見込) ア 緑の羽根募金 円 46100 49500 48500 47800 47000 イ 苗木配布時募金 円 14005 11238 30665 16723 20000 ウ エ オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 緑化推進が図られ、住環境水準が向上する。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(見込) ア 真岡市をきれいなまちと感じる市民の割合 % 74.0 70.2 69.7 72.1 80.0 イ 環境保全活動に関心のある市民の割合 % 47.8 48.8 45.9 48.2 65.0 ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	35	43	43	43	0
	事業費計(A)	千円	35	43	43	43	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	2	0
		延べ業務時間	時間	8	8	8	128	0
		人件費計(B)	千円	34	34	34	520	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	69	77	77	563	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	山林の適正な維持管理を目的とした栃木県治山林道協会が昭和22年に設立され、設立当初から会員となり会費を支出していた。平成23年12月1日に、栃木県の緑化運動推進を目的とする栃木県緑化推進委員会と栃木県治山林道協会が合併し、とちぎ環境・みどり推進機構となる。引き続き会員として参画し、緑豊かな自然を将来に渡り、保全・整備する幅広い緑化運動を実施している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	二酸化炭素の吸収資源対策や、地球温暖化防止のために緑化推進の重要性が増加する。また組織として、平成25年4月1日に公益社団法人の認可を受ける。さらに平成24年度までは、緑化運動推進を目的とする芳賀地区緑化推進委員会が存在したが、市町村合併等による推進体制変化に伴い解散し、当団体へ一本化される。平成25年度には、真岡市の担当課が農政課から都市計画課に変更となり、主目的が、森林の適正な維持管理から緑化運動推進になる。施策も「農業の振興」から「自然環境の保全と保護」に変更となる。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	毎年配布する苗木の種類を変えており、配布を受けた市民から大変喜ばれ、募金にも積極的に協力を得ている。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 本参画事業により、真岡市緑の基本計画の目的である緑化推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 緑化推進を図る必要性から妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 本事業は参画事業のため、限定・追加等はできない。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 本参画事業は、緑化推進について、適切な各種事業が行われているので、向上の余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 当機構の運営が停滞し、緑化推進の啓発活動ができなくなるので廃止休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 負担金は、人口割・事業割で必要最小限であり削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担を求める事業ではなく、各市町や林業団体等が応分の負担をしているので公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							